

IPW緩和ケアコース 多職種協働 事例検討研修

日時 2026/ **1/10** 土 申し込み締切り：1月3日（土）

第5回 多問題家族：ヤングケアラー **13:00-16:00（全6回）**

事例 Aさん(43歳)は8年前に急性骨髄性白血病で骨髄移植術を受けた。8年後に再発し再度移植を受けたが、合併症の脳炎(短期記憶障害)で、日常生活が出来なくなった。Aさんは家庭内別居中の夫の介助・介入を拒否し、中学生の長男を頼りに生活している。長男は、見守り、着替え・オムツの準備と片付け・買い物・病院への付き添い等を行っている。ヤングケアラーの家族の背景をアセスメントし、支援を考える

講師 がん研有明病院 がん看護専門看護師 濱口恵子氏

会場 オンライン
(ZOOM)

対象 医師・看護師・
MSW・薬剤師など

5/10 土 ケミカルコーピング

事例 認知症高齢者のAさんに積極的
化学療法がなされている。家族
の要望ではあるけれど...

講師 京都大学 臨床倫理准教授

7/12 土 麻薬：
ケミカルコーピング

事例 痛みの訴えと易度性が高くなって
いるAさん。これは医療麻薬の依
存症？医療者は巻き込まれる

講師 金沢大学病院 専門薬剤師

9/13 土 「怒り」の
予先になる時

事例 BSCを告げる時、激しい「怒り」
で、治療継続を求めるAさんと
家族にどう対応する？

講師 がん研有明病院 精神腫瘍科部長

11/8 土 AYAの治療拒否

事例 AYA患者のAさんは、治療を拒否
する。家族は治療希望で医療者
間でも意見が分かれて...

講師 聖路加国際病院 小児科部長

3/14 土 終末期鎮静療法
とSDM

事例 耐え難い苦痛でAさんは、「鎮静
療法」を選んだ。家族は夜間・休
日問わず、説明を求める

講師 国立がんセンター 緩和ケア医長

申込 長野北信がんプロホームページの「受講者の方へ」から、または右のQRコードから
お申し込みください。その際に、申込みフォームお問合せ欄に、第何回を受講され
るかを記入してください。 例：全回希望、第5、6回希望 など

